



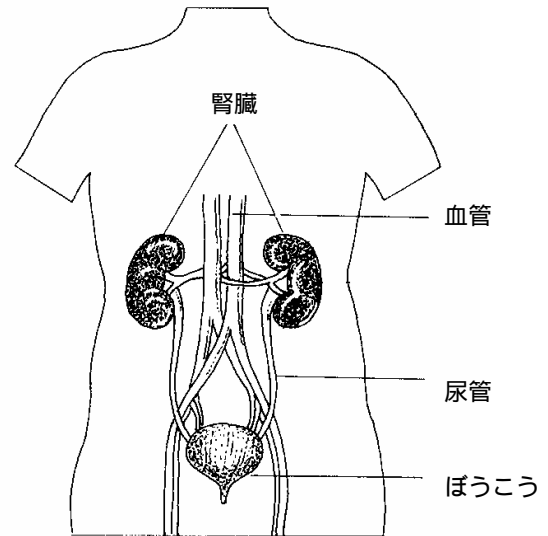
## 「おしっこ」は、<sup>からだ なか</sup>体の中の、どこでつくられているの

### 「おしっこ」がつくられているのは<sup>じんぞう</sup>腎臓

<sup>じんぞう</sup>腎臓は、<sup>い</sup>胃の裏側の<sup>うらがわ</sup>背骨の横に、<sup>せぼね</sup>二つ<sup>よこ</sup>並ぶようにしてついています。

<sup>じんぞう</sup>腎臓は、<sup>からだ</sup>体にいらなくなった<sup>もの</sup>物を、<sup>ち</sup>血の中<sup>なか</sup>からより<sup>わ</sup>分けるはたらきをしています。

いらなくなった<sup>もの</sup>物は、<sup>ぼうこう</sup>ぼうこうにためられ、<sup>やがて</sup>やがて、「おしっこ」として<sup>からだ</sup>体の外へ<sup>そと</sup>捨てられます。<sup>ぼうこう</sup>ぼうこうにためることのできる「おしっこ」の<sup>りょう</sup>量は、<sup>はん</sup>コップ1ぱい<sup>はん</sup>半くらいで、<sup>かい</sup>1回<sup>で</sup>に出るおしっこの<sup>りょう</sup>量は、<sup>りょう</sup>だいたいコップ1ぱい<sup>りょう</sup>くらいです。



### 「おしっこ」は、<sup>からだ なか</sup>体の中の<sup>みず</sup>よぶんな水

<sup>にんげん</sup>人間の<sup>からだ</sup>体の<sup>せいぶん</sup>成分の<sup>パーセント</sup>60%は<sup>みず</sup>水ですが、<sup>みず</sup>その<sup>りょう</sup>水の<sup>りょう</sup>量は、<sup>からだ</sup>体の中の<sup>なか</sup>しくみによって<sup>ちょうせつ</sup>調節され、<sup>いっぺい</sup>いつも一定に<sup>たも</sup>保たれています。<sup>からだ</sup>そのため、<sup>からだ</sup>体の中の<sup>なか</sup>よぶんな<sup>みず</sup>水は、<sup>あせ</sup>おしっこや汗<sup>あせ</sup>になって、<sup>からだ</sup>体の外<sup>そと</sup>に<sup>す</sup>捨てられているのです。

ですから、<sup>た</sup>食べ物<sup>もの</sup>や<sup>の</sup>飲み物<sup>もの</sup>から、<sup>すいぶん</sup>たくさんの<sup>すいぶん</sup>水分をとったときには、<sup>からだ</sup>体の中の<sup>なか</sup>よぶんな<sup>すいぶん</sup>水分は、<sup>あせ</sup>おしっこや汗<sup>あせ</sup>といっしょに、<sup>そと</sup>からだの外<sup>す</sup>に捨てられます。

<sup>あつ</sup>暑いときは、<sup>みず</sup>水は<sup>あせ</sup>たくさんの汗<sup>あせ</sup>になって、<sup>す</sup>捨てられますが、<sup>さむ</sup>寒いときには汗<sup>あせ</sup>が出ないので、<sup>あせ</sup>そのかわりに、<sup>で</sup>おしっこが<sup>かいすう</sup>たくさん出<sup>おお</sup>るため、<sup>かいすう</sup>おしっこの回数<sup>おお</sup>も多<sup>おお</sup>くなります。

(監修・保志 宏)

